

図工美術科教育 実技理論研修会 終了報告

テーマ	「この絵、さるの絵？子どもの絵？」 ～違いから子どもの絵の発達段階を捉える	
日時	平成28年7月11日(月)	
会場	石狩教育研修センター	
講師	橋本 忠和 氏 (北海道教育大学函館校教授)	
参加者	31名	
研修会 の 様子		<p>導入で、クレヨン(白)とコンテを使い、白い紙に白いクレヨンで描いた文字がコンテの粉を振りかけると現れる！という実技を行いました。絵が浮き出てきて、皆さんびっくりしていました。</p>
		<p>児童が使っている絵の具を、洗剤を混ぜるだけでポスターカラーに変身。さらに、ガラスに橋本先生はかき出しました。でも大丈夫！もとは、水と洗剤ですから、拭き取ったらガラスもきれい！</p>
		<p>お話の中では、発達段階における児童の絵の見方や無理に押しつけないことの大切さ。刺激を与えるんだよ！など示唆に富むお話がたくさんありました。</p>
		<p>参加された先生方の感想に、「橋本先生の話に引き込まれました。」「授業に生かせる実践的なものがあり有意義でした。」等、実技有り理論有りの大変有意義な時間を講師の先生と共に過ごすことができました。</p>